

|           |   |   |  |
|-----------|---|---|--|
| 法人（事業所）理念 | 園の保育カリキュラムを取り入れたトレーニングを行うことができる通級クラスとしての位置づけです。このクラスに参加することにより、園の保育時間を効果的に過ごすことができ、さらに保育カリキュラムを個別に支援できる環境設定することで興味をもってやり遂げる機会が生まれることを期待しています。そして顧問講師の助言を取り入れて、園職員と児童指導員とが一体となり、ひとり一人安心できる環境の中で健やかな成長・発達をサポートしていきます。   |   |  |
| 支援方針      | 園児個々の特性を考えるとともに、インクルーシブな教育環境の実現に向けた「支援保育」を実践しています。クラス単位、学年単位での保育カリキュラムを基本とした集団活動の中であっても、成長や発達状況に応じて、個別のかかわりをする中で成長を期待できるように保育時間中に3～4人の少人数で個別のサポートを行っております。園内でサポートすることにより、集団生活での困りごとや一人ひとりの課題に沿った内容で園の保育理念・保育カリキュラムを踏まえたトレーニングを行うことができます。何より、園生活と同じ環境で保育時間内に行うことは、人的・施設的環境の変化がないため、保育室に戻ってからの集団活動にも自信が付き、安定した成長・発達に繋がっています。こうした積み重ねを行うことで、自己肯定感が育まれ、就学時の不安を期待に変えて小学校へ進学していく事を目標にサポートしています。 |   |  |
| 営業時間      | 9 時 0 分から 17 時 0 分まで  | 送迎実施の有無   | あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>  |
| 支援内容      |   |   |  |
| 本人支援      | 健康・生活   | ・発達過程に応じ、食事、排泄、着脱などの生活動作を身に付けることができるようにスモールステップで支援します。<br>例：登園後のお支度（日付確認等）、降園準備、おやつ、歯磨き、排泄、更衣、手洗い、うがい など  |  |
|           | 運動・感覚   | ・衝動性や感覚過敏などの発達特性に配慮し、行動コントロールや様々な感覚刺激を取り入れながら状況理解を高めることができるように支援します。<br>例：運動あそび（サーキット、おすもうあそび、つなひき等）、感覚触覚あそび（プランコ、ボールプール、トランポリン、ねんど遊び等）<br>制作（ハサミ、でんぷん糊、クレヨン、水彩絵の具等）、外あそび、散策  |  |
|           | 認知・行動   | ・集中力や指示を聞いて実行する力を育みます。<br>・様々な遊びを通して、認知面を深めていきます。<br>例：集団あそび（フリースタケット、だるまさんが転んだ等）、勝敗のあるあそび（ジャンケン、まあいっかあそび等）、時計、数、ビジョントレーニング（目の動き）等  |  |
|           | 言語コミュニケーション   | ・規則正しい生活や体づくり、情緒の安定、遊びの中で手を使う活動等を通して、ことばの発達を促します。<br>・友だちや職員とのやりとりを通して、適切に気持ちを表現する力を養い、コミュニケーション能力の向上を図ります。<br>例：始め終わりのご挨拶、ことば遊び（しりとりなど）、読書活動 など<br>・言葉による表出だけではなく、指差しやジェスチャー絵カードなど、様々なツールを活用して意思伝達ができるように支援します。<br>・友達や保育士等職員とのやりとりを通して、適切に気持ちを表現する力を養い、コミュニケーション能力の向上を図ります。<br>例：ままごと、しりとりやクイズなどの言葉あそび、表情ゲーム、こんな時どうする？等 |  |
|           | 人間関係社会性   | ・発達段階や自我の芽生えに配慮しつつ、自主性を重視しながら気持ちを調整したり、友だちとの関係を築いたりすることができるように支援します。<br>例：自由遊び（おもちゃを選択する、片付けへの気持ちの切り替え）、集団あそび（転がしドッジボール、ハンカチ落とし等）、順番決め 等  |  |
| 家族支援      | ・必要に応じて相談助言を行います。<br>・日々のオンライン連絡帳を通して情報共有を図ります。<br>・家族会を行い、保護者同士が交流する機会を設けます。   | 移行支援  | ・進級、進学時に必要な情報を提供します。<br>・就学教育相談会について説明し、就学についての相談助言を行います。<br>・移行支援シートを作成し、園や小学校と情報連携を図ります。<br>・卒園後、放課後等デイサービスのご利用先にも移行支援シートや情報提供を行い、スムーズに移行することができるよう行います。 |
| 地域支援・地域連携 | ・保育園や幼稚園、子ども園に訪問し、お子さんの様子や状況について情報連携を図り、育ちを支えます。<br>・必要に応じて医師と保護者と情報共有をしています。<br>・みつや・めぐみ幼稚園の行事に参加。   | 職員の質の向上   | ・日々のミーティングや活動の振り返りをする中で、個別支援計画に沿った支援の提供を行います。<br>・梅花女子大学こども心理学部心理学科教授伊丹昌一先生の指導、監修をしていただき、職員が利用者に対し、より適切な支援を提供できるようにしています。<br>・施設内外の研修に積極的に参加しています。         |
| 主な行事等     | みつや・めぐみ幼稚園開催の行事や設備・機器を使用した活動を行い、無理のないように個々の特性に応じた内容で参加できるよう工夫しています。   |   |  |